

ふれあいの橋の会

REPORT よなご

訪問日 2026年 3月 5日 (木) 14:00~15:30

訪問先 ケアハウスよなご幸朋苑、 後藤ヶ丘地域包括支援センター
ケアプランセンターかわさき 米子市上後藤 3-3-3

出席者 【委員】 田平 敏雄、福谷 武彦、名越 光義、三島 峰子

【よなごエリア】 豊田 慶子 (ケアハウスよなご幸朋苑 施設長)
足立 育世 (後藤ヶ丘地域包括支援センター 課長)
池口 宏明 (ケアプランセンターかわさき 管理者)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)



YONAGO Area Report



■施設の現況・課題

荒井監事：本日の「ふれあいの橋の会」は、1996年4月に開設したケアハウスよなご幸朋苑を見学していただきます。4階建ての建物で、1階には後藤ヶ丘地域包括支援センターとケアプランセンターかわさきが配置され、2階から4階がケアハウスの居室となっています。隣接地には、介護老人福祉施設よなご幸朋苑や養和病院が建ち並び、日々連携、交流が進められています。では、それぞれの事業所について、施設の現況と課題を報告してください。

豊田施設長：**ケアハウスよなご幸朋苑**は、今年4月で**開設30周年**を迎えます。介護付きの特定施設ではなく、外部サービス利用型経費老人ホームです。自宅同様にホームヘルプサービスやデイサービスなどを利用することができます。入居定員は60名で、現在56名が入居。62歳～95歳、平均年齢84歳。要支援・要介護の認定者は45名、デイサービス利用者が45名、訪問系サービスを利用されている人は36名、入居しながら就労されている人が2名いらっしゃいます。**1階に包括支援センターとケアプランセンターが併設**していますので、**相談体制が整っているのも利点**です。日々楽しく過ごしていただこうと、毎月行事を実施しています。本日は、体操、頭の体操など工夫を凝らしたメニューを準備し、ボランティアの方が訪問し交流されます。毎週の訪問を、利用者の皆さんが楽しみにされています。

足立課長：後藤ヶ丘加茂地域包括支援センターとして運営していましたが昨年11月、ケアハウスの1階に**後藤ヶ丘地域包括支援センター**、米子市両三柳に加茂地域包括支援センターを配置し、ケアプランセンターかわさきをケアハウス1階に配置しました。10名の職員で、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等の専門職が相談に対応し、介護予防プランの作成や権利擁護、虐待防止などを行っています。よなごケアハウスの入居者も11名担当しています。

池口管理者：**ケアプランセンター**（正式名称：居宅介護支援事業所）は、介護が必要な高齢者やそのご家族が、適切な介護保険サービスを利用できるようにサポートする窓口です。介護支援専門員（ケアマネジャー）が常駐しています。ケアプランセンターかわさきは、要介護認定者225名を6名の職員で担当していますので、1人当たり37.5件となっています。後藤ヶ丘地域包括支援センターと同居していますので、とても円滑に業務ができています。

三島委員：米子市での地域包括支援センターの設置は、どのような状況ですか。

足立課長：地域包括支援センターは、米子市からの委託で、現在10か所に配置されています。米子市では、中学校区に1か所という考えで設置しています。

名越委員：米子市の高齢化は、どういう状況ですか。

足立課長：**米子市の高齢化は上昇**を続けており、65歳以上人口は、平成12年までは増加するようです。特に90歳以上の認定者数の増加は顕著です。

田平委員：米子市内でも、中心市街地とその他の地域では、高齢化の状況も異なるでしょうね。

足立課長：こうほうえんが受託している地域は、市内の中央地域を担当しており、増加傾向です。



■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内を見学していただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

三島委員：入居者の皆さんと一緒に体操をしました。ボランティアの方の指導が上手で、感心しました。

豊田施設長：体操だけでなく、しりとりやクイズ、ゲームなど、毎回内容を工夫されており、入居者の皆さんはとても楽しみにされています。他にも地域で健康推進員の活動をされているようです。

足立課長：ケアハウスでは毎週体操をしているので、通所系のサービスを中止された人もいます。

三島委員：ボランティアは、他にも訪れていますか。

豊田施設長：コーラスのボランティアやフラダンスのサークル、鳥大の混声合唱部の学生さん、餅つきのボランティアなどいろいろな方々に協力していただいています。

三島委員：入居者にとっては、**毎日の変化が必要**だと思います。日々の楽しみが増えると、生活に潤い生まれます。いろいろな工夫をしていただくようお願いします。

福谷委員：ケアハウスの入居者の中には、認知症状のある人はおられますか。

豊田施設長：若干名おられます。症状が進行した場合はご家族に相談し適切な施設を検討して頂きます。

③





福谷委員：ケアハウスの入居希望、待機者はどの程度ありますか。

豊田施設長：現在20名程度の申し込みがありますが、いずれはという気持ちで申し込みされる方や、すでに介護が必要な方もおられ、入居に繋がる人ばかりではない状況です。

名越委員：認知症状があると判断し、介護認定に反映されますが、誰が判定されているのでしょうか。

足立課長：日頃から健康状態を知っている「かかりつけ医」が判断されます。ご家族からの相談で、医療機関を紹介することもあります。薬の飲み忘れや受診後に調剤薬局に寄らず帰ってしまうなど、服薬に関係することから気づくことが多いようです。

三島委員：かかりつけ医は、状態の変化を診察されますので、いち早く分かるのでしょうか。

田平委員：薬の関係は、調剤薬局の薬剤師が詳しいですね。薬の飲み合わせなどをチェックされ、これはやめておきましょうと指示を受けたことがあります。

足立課長：マイナ保険証では、過去の薬剤・診療情報を医師や薬剤師と共有でき、安全な処方や飲み合わせのチェックが可能になっています。副作用や重複投薬を防ぐことにもつながるようです。

名越委員：私の孫は薬剤師をしています。相談するといろいろと指導をしてくれます。

福谷委員：よなごケアハウス周辺は、病院や介護施設、コンビニなどが隣接しており、他の施設に比べ、とても便利な場所だと思います。入居者は、買い物など日々の生活をどうされていますか。

豊田施設長：苑車で買い物や花見に出かけたりします。苑内でも映画上映会を実施、移動図書館つつじ号も月2回来苑し、入居者が利用されています。よなご幸朋苑の祭などにも参加します。

福谷委員：地域の皆さんも参加し、火災を想定した避難訓練もされており、いいと思います。

豊田施設長：毎年春と秋に避難訓練をしています。避難訓練は、地域の皆さんに協力していただくこともあります。いろいろな災害を想定していますが、停電も困ります。エレベーターが止まった場合は、利用者の移動や食事の配膳は段階での対応となるのでとても大変です。

田平委員：東京スカイツリーでのエレベーター停止事故は、大変だったと思います。想像を絶するものがあつたと思います。非常時には迅速に判断し、対応できるよう訓練の徹底をお願いします。

福谷委員：私は民生委員をしています。コロナ禍で家族葬が増えていますが、葬儀の方法が分からない人も多くなっています。近所付き合いが希薄になり、相談相手がない人が増えています。香典を預かって届けても、香典返しがなかったり、困ることが多々あります。

名越委員：地域でのコミュニケーション不足、地域交流が薄れていますので、具体的な取り組みが必要です。施設入居者でも同様で、できる限り交流機会を増やしていただくようお願いします。

豊田施設長：4月以降の「ふれあいの橋の会」のスケジュールを計画しました。よなごエリアは、第1木曜日14：00～です。

次回は、4月2日（木）14：00～よなご特養、生活支援ハウスです。

④